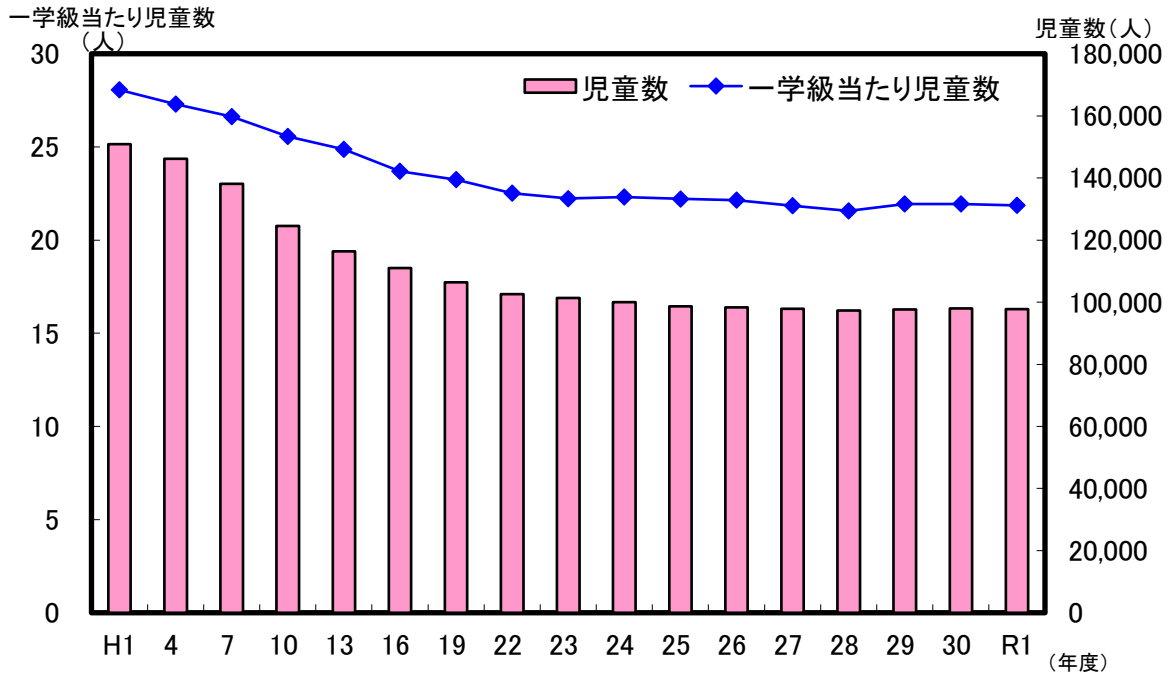


熊本県の児童数と一学級当たり児童数の推移



解 説

【概要】

令和元年度の県内小学校数は347校（本校342校、分校5校）で、前年から2校減少した。学級数は4,470学級（単式3,404学級、複式76学級、特別支援学級990学級）で、前年から5学級増加となった。

また、児童数について見てみると、令和元年度は前年度比227人減の97,724人（男子50,133人、女子47,591人）となった。

平成元年度からの児童数の推移をみると、ほぼ毎年減少しており、令和元年度の児童数は、平成元年度の3分の2程度となっている。

また、教員数は7,081人（男2,838人、女4,243人）で、前年から58人増加した。

○小学校数

各年5月1日現在の国公立及び私立のすべての小学校数で、分校も1校として計上している。なお、中学校と併設されている場合は、それぞれ1校として計上している。

○教員数

本務の教員数であり、校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭及び講師の合計である。本務と兼務の区別は、原則として辞令面によっている。本務者には退職者、産休者及び育児・介護休業者並びに産休代替者及び育児・介護休業代替者も含まれている。

○学級数

国公立の小学校の単式学級、複式学級、特別支援学級の合計。

○一校当たり児童数

児童数÷小学校数

○教員一人当たり児童数

児童数÷教員数（本務者）

○一学級当たり児童数

児童数÷学級数

資料出所	調査期日	調査周期
「学校基本調査」 文部科学省	令和元年5月1日	毎年